

令和6年度第5回 印西市市民活動推進委員会 会議要旨

1. 開催日時 令和6年10月4日（金） 午前9時～午後16時30分
2. 開催会場 ふれあいセンターいんば 研修室、会議室
3. 出席者 戸川和成委員長、市場勝巳委員、岡野誠委員、小林宏委員、安倉史典委員、矢野真理委員、藤澤進委員、奥田信康委員、市川弘委員、志村はるみ委員、棚橋明委員
（以上11名）
4. 事務局 市民活動推進課・伊藤課長、鈴木課長補佐、本田係長、諫見、黒田
5. その他参加者 インターン生4名（千葉商科大学）、市民活動支援センター2名
6. 発表者 提案者20名（午前の部8名、午後の部12名）
（市関連部署 大森図書館・根本副館長、阿久津、保育課・木村係長、西の原保育園・鈴木園長、子ども家庭課・小森谷係長、環境保全課・篠原係長、海老原係長、五十嵐、都市整備課・松倉、市民活動推進課・千葉井係長）
7. 傍聴者 議題（1）印西市情報公開条例第7条5号の規程により、非公開
議題（2）公開0名
8. 会議内容
 - 1 開会
 - 2 議題
 - （1）企画提案型協働事業 公開審査会（最終審査）／スケジュール及び評価の確認について
 - （2）企画提案型協働事業 公開審査会（最終審査）
 - 3 閉会

9. 会議要旨

2 議題

（1）企画提案型協働事業 公開審査会（最終審査）／スケジュール及び評価の確認について

《事務局説明》

・次第、資料13、14、16、17、18に基づき説明。

《委員質問・検討》

・公開審査会のスケジュール及び審査方法を共有。

・付帯意見の集約方法を確認。委員会を3グループに分け、9提案を分担して模造紙に集約し、グループリーダー委員が講評すること、また全体講評を委員長が行うこととした。

・各提案における質問事項の調整を行った。

（2）企画提案型協働事業 公開審査会（最終審査）

・公開審査会は午前の部と午後の部の2部制で開催。

- ・ 午前の部は自由提案型 3 件、午後の部は自由提案型 2 件、指定テーマ型 4 件の審査を実施。
- ・ 各プレゼンには関連部署も同席し、提案者とともに質疑応答に対応。

【午前の部】

- ①プレゼンテーションの進め方と審査方法等の説明
- ②プレゼンテーション

【提案 1】 市民に愛され親しまれる印西市立図書館を目指す事業

提案者の発表

提案者はパワーポイントを使い、提案内容について説明を行った。

質疑応答

（質問 1）講演会のこういった部分が、図書館に親しみを持っていただくきっかけになるのか。またその効果の把握方法は？講演会の開催場所についても教えてください。

（提案者回答）講演会開催の際に、参加者の皆さんにアンケートを実施する予定です。その結果を図書館と提案者で共有し、その後アイデアを出し合いたいと思っています。また図書館が市民の皆さんに講演会を提供することで、親しみを感じながら親子で参加していただくことができと思っています。場所は文化ホール 2 階の多目的室を予定しています。

（質問 2）資料の別表 1 の表は、図書館購入等の指標であって、市民サービスとしての図書館サービスを求めるのであれば、職員人件費、講演会などの事業費などトータルに計算して、図書館サービスの水準が低いというべきではないか。この資料だけでは単に図書館の図書購入費を増やしてほしいと言っているように聞こえる。

（提案者回答）印西市の人口に対して利用できる図書の数が少なく、図書購入費の実績から市民に対して十分なサービスを提供できていない状況だと考えています。

（関連部署回答）図書購入費は令和 3 年度まで減少しているが、4 年度以降回復しています。図書費の充実を図るために、財政課と交渉をしていきたいと考えています。

（質問 3）親しみやすい図書館にしていくために、講演会一つの実施で良いのか。

（提案者回答）協働事業以外にも団体の活動として、絵本の講座、図書ボランティアの方に向けて絵本の選び方の助言などを行っています。これらの活動も継続していく予定です。また今回の協働事業提案のために図書館と協議したことで、図書館との距離が近くなりました。これからまた協議を重ねて、2 年目、3 年目に新たな事業を提案していきたいと考えています。

（質問 4）参加者にアンケートを実施するとのことだが、利用しやすさ・親しみやすさなどはどういった指標を用いて把握するか？

（提案者回答）アンケートの内容は今後協議していく予定です。市民がこういったものを要望しているのか把握するいい機会だと考えています。

【提案 4】 年長さん思い出プロジェクト（身体の基盤づくり）

提案者の発表

提案者はPDFを使い、提案内容について説明を行った。

質疑応答

（質問1）具体的な結果ではなく、楽しむことを重視すると理解した。園児たちが楽しんでいることがわかるような動画を、撮ることは可能か？2年目なのでステップアップしたら、より良い事業になると考える。

（提案者回答）残念ながら動画の撮影は、園の方から禁止されています。

（質問2）理学療法士の診断結果を、どのようにフィードバックするのか？そもそもなぜ理学療法士が診断するのか？幼児の体力の低下が起こっているとの主張は、医療に傾いているのでは？

（提案者回答）理学療法士はベジガールズの団体内に所属しているので、外部に委託しているわけではありません。1回目にデータの測定を行い、年度の最後に再びデータを測定し変化を示したいと考えています。

（質問3）測定した結果のフィードバックは個人と園、どちらにわたすのか。また子供たちが楽しんでいるというのはどのように図る？

（提案者回答）測定結果は最後の園長会議の際に、園長先生にお渡しする予定です。2つ目の質問に関しましては健康体操動画を配信しており、すべての公立保育園で見いただいています。また健康体操のCDも配布しておりまして、月1～4回は5園すべてで実施していると伺っています。そういった子供たちが楽しんでいるという声を、数値ではありませんが先生方からリアルに頂いています。

（関連部署回答）保育課の方でも園で実施している所を拝見し、園児たちが楽しんでいることを確認している。運動への苦手意識の強い子が、克服できていると認識している。園としても期待が高まっているので、効果としてみていきたい。

【提案5】虐待予防事業「子育てを学ぼう！乳幼児期から始める子どもの心のコーチング」

提案者の発表

提案者はパワーポイントを使い、提案内容について説明を行った。

質疑応答

（質問1）三者協議の回数は1回で十分か？顕在化していない問題の掘り起こしは、どのくらいできているか？

（関連部署回答）対面での三者協議の回数は1回ですが、必要に応じて電話やメールで打合せをしています。児童虐待の件数は毎年200件以上あります。今回の提案は参加希望制の事業ですべての子育てをしている家庭を対象としています。

（質問2）今年度の申し込み状況について教えてください。来年度の2種類の講座の参加人数の想定を教えてください。またなぜ参加人数の目標値が、募集人数の6割なのですか。

（提案者回答）思春期向けの講座は14人でした。残りの2講座は受付中で、乳幼児の単発講座は

現在 16 人、対話型連続講座は 1 日に募集を始めたばかりなので 2 人です。参加人数の想定は、全て 10 名です。国の方針でも参加者は約 10 名と定義されており、担当課と協議して決めました。募集人数の 6 割の理由といたしましては、応募した人が様々な理由でキャンセルをし、全員参加することは少ないからです。有料講座でも募集人数の 8 割、無料講座だと 6 割参加すれば良いほうです。

（質問 3）講座内容を直接参加できない人にも、広める必要があると思う。広報の仕方はどのように考えているか？

（提案者回答）講座に参加している人には講義だけでなく、グループワークや悩み相談も行っています。講座の内容について周知するというのは考えていませんが、検討したいと思います。

（質問 4）参加人数の目標値が募集人数の 6 割ならば、募集人数は 16 人になるのでは？

（提案者回答）国の方針では 5 人～10 人の参加者となっており、問題はないと考えています。また稀に応募した人が全員参加することもあり、参加者が 16 人となってしまうと、講座実施が難しくなってしまいます。

（委員）協働事業としてどう実施するか、担当部署と相談して、論理的に矛盾のない事業計画を立ててください。

（提案者回答）承知いたしました。

③審査結果午前発表・講評

【審査結果】

提案番号	事業名	適	否	結果 (適/否)
1	市民に愛され親しまれる印西市立図書館を目指す事業	9	2	適
4	年長さん思い出プロジェクト（身体の基盤づくり）	9	2	適
5	虐待予防事業「子育てを学ぼう！乳幼児期から始める子どもの心のコーチング」	10	1	適

【講評】

提案毎に、担当の市民活動推進委員会委員より講評を行う。

【提案 1】市民に愛され親しまれる印西市立図書館を目指す事業

・図書館事業は全国的に課題を抱えており、来場者の増員に向けて活動することは素晴らしいことなので期待の大きい事業であると評価します。

・1年目の事業ということもありますが講演会 1 回だけで、親しみやすい図書館になれるのかという意見がありました。書籍のデジタル化が進み、図書館の位置づけが問われている中で、来場者を増員する施策を考え、市民の方に親しまれる図書館を目指してください。

・図書館の抱えている課題が大きいので、施策と課題解決との距離感があるという意見がありまし

た。講演会の実施の幅を広げるなど、今後の発展を期待しています。

【提案4】年長さん思い出プロジェクト（身体の基盤づくり）

- ・継続事業で良い効果が出ており、専門的知識を持った団体の特性が活かされている点を評価します。実施回数3回だけでなく、その先の取り組みも考えてみてください。また、効果を市民に公開できるように工夫してください。
- ・丁寧な計画、企画進行、2年目の事業としてステップアップされている点を評価します。担当部署との打ち合わせを丁寧に行ってください。
- ・今後において、バランスボールの専門家でなくても、実施できるようにしてほしいとの意見がありました。

【提案5】虐待予防事業「子育てを学ぼう！乳幼児期から始める子どもの心のコーチング」

- ・事業の展開や中長期的なビジョンが示されている良い事業であると評価します。虐待予防への有効性を高めるため、虐待や育児の孤立化の現状を広く伝えていくなど、工夫してください。
- ・担当部署との連携を密にとり、事業計画との整合性について検討するとともに、乳幼児健診と連携するなど、今後の取り組みに期待します。講座に参加できない方への周知の仕方についても、工夫してみてください。
- ・参加者を増やすことには賛否両論ありますが、本当は不安を抱えているが参加できない人のケアについても検討してください。顕在化していない家庭内の問題の掘り起こしが必要ではないかとの意見がありました。

【総評・午前】

委員長より総評がある。

協働事業とは、行政だけでは手の届かない問題を市民と一緒に取り組むものだと考えます。午前の部の3事業は、図書館の利用者数の低下や、年長さんの体幹、子ども中心の社会を後押しすることなど、コロナ後にケアが必要な問題に取り組んでいると感じました。これらの事業が上手くいった場合も、そうでない場合もいい成果になると思います。付帯意見ではこの将来性のある事業を、もっとこうしたらいいのではないかという意見が多く上がりましたので、ぜひ参考にいただければと思います。

【事務連絡】

今後の予定として、本日の審査結果を文書にて、各提案者に送付すること、また本日の結果に基づき、採択候補事業の選定結果を委員会から市長に答申し、市長が採択事業を決定後、来年度に向けて予算化、また事業の実施のための具体的な準備に入ることを説明。

【午後の部】

①プレゼンテーションの進め方と審査方法等の説明

②プレゼンテーション

【提案7】「地域猫活動」普及啓発事業

提案者の発表

提案者は資料を使い、提案内容について説明を行った。

質疑応答

（質問1）不適切飼育や多頭飼育の問題で、どんな生活被害があるのか教えてください。また「ホームセンターとの協力関係」とあるが、具体的にどういったことをやるのですか？

（提案者回答）農村部の戸建ての家が、猫を不適切飼育している傾向があります。被害状況としては、猫の糞尿の匂い、植木を荒らすなどです。住宅街で敷地内に猫が入ってくるといった苦情は少ないです。

（関連部署回答）市役所には苦情が、今年度で40件ほど入っております。内容は、ごみをあさる、糞尿のにおい、車に傷をつける、頼んでおいたピザを食べられる、猫の嘔吐物がある、ねずみの死骸などです。なかなか解決できていないのが現状です。イベント内容は、カインズ千葉ニュータウン店に場所を提供していただいて、講師の方をお呼びして講演会を行う予定です。カインズには猫グッズがおいてあるので、そちらの販売や譲渡会・講演会・キッチンカーなどを呼んで大々的に開催したいと考えています。1500人ほどの集客を予定しています。地域猫についてPRするために、カインズ、市、団体の三者で協議をしています。

（質問2）提案事業の三者協議が1回とのことですが、1回で大丈夫ですか。

（提案者回答）市の方と年間5回打合せを行います。お互いアイデアを出し合い、一つの問題について双方で認識しているので、非常にいい関係が続いています。

（質問3）予算の必要性について伺いたい。一つ目は講演会で、どういった方をどういう目的で呼ぶのか。二つ目は広報の仕方について。この問題を広めることが重要だと思うが、ボランティアに頼っていて、予算があまりとれていないのではないか。

（提案者回答）講演会は協働事業を実施する前から、会員の方に向けてやっていました。その際は交通費のみでいいという方もいました。今回協働事業として講師の方を呼ぶとなった時に、TVタレントを呼ぶとなると青天井になるので、交通費込みで15万円ならば一般的ではないかと思いました。カインズのイベントでは滋賀の写真家の方に、パネル展示と講演会を依頼する予定です。野良猫の悲惨な状況、福島で取り残された猫のパネル展示を予定しております。

【提案8】市民参加で守る別所谷津公園の谷津の生態系

提案者の発表

提案者はパワーポイントを使い、提案内容について説明を行った。

質疑応答

(質問1) 事業内容に市が「まちづくりファンド申請のための助言」となっているが、協働事業とまちづくりファンド同時利用がありうるのか。まちづくりファンドに限らず他の補助金の利用は可能なのか。まちづくりファンドが不合格となった場合事業内容はどのようなのか。

(関連部署回答) ハード面の整備でまちづくりファンドの活用を検討しています。他の補助金を使えるかについては、法的な面で問題がないか精査して進めていく予定です。

(提案者回答) まちづくりファンドが不合格となった場合は、手作業で整備を行う予定です。過去に他の場所でも手作業で実施しており、森の手入れや、木を持ってきて橋をかけたり、木道を作ったりと、団体なりに行うことは可能です。関連部署が申した通り、他の補助金を使えるかは検討して、精査していきたいと思います。

(質問2) 市との協働事業としては、調査結果や保全活動を広く市民に伝達することも重要だと考える。今の結果をどう公表しているのか。またPRの仕方についても教えてください。

(提案者回答) 地域新聞やSNSを使ったインターネット上での発表を行っています。

(関連部署回答) 今回の事業のPRを市の環境保全課と連携しています。市民団体と連携を図って調査研究をし、環境保全課から生物環境保全の情報をもらって、検討しているところです。

(質問3) 関連部署にお聞きしたい。印西市の開発が進む中で、自然環境を残していくことも重要である。都市から近い水源である亀成川の周辺の将来構想について、教えてください。

(関連部署回答) 開発が進んでいる中で、保護していかなければいけないと考えています。市が発展していくと、生物が失われていくという側面もあります。市民の方の自発的な活動から知識を得ながら、守っていききたいと考えています。

(質問4) 改めて確認だが、協働事業とまちづくりファンドの同時申請にはなるが、使途が別なので問題ないという事か。今後、関連部署と協議してやっていくということか？

(関連部署回答) はい。問題ないです。提案者と協議して活用していきたいと考えています。

【提案9】竹袋調整池と周辺地域の維持管理事業

提案者の発表

提案者はパワーポイントを使い、提案内容について説明を行った。

質疑応答

(質問1) 協働事業計画書の「事業内容及び事業に要する経費」において、昨今の資材価格の高騰の影響はあるのでしょうか。

(提案者回答) はい。あります。しかし市の発注事業ではないので、高騰分を簡単に見積もって予算を出せません。そのため昨年度の300万円から10万円ほど上乗せしています。実際にそれだけの上乗せでは足りないのが現状です。

(質問2) 事業継続の担い手の確保の計画について教えてください。

(提案者回答) この事業を長い間続けていますが、協働事業として果たして適しているのか。2年～3年で達成できるものではなく継続していくものなので、制度の見直しをしてほしいと思っています。

ます。

(質問2-2) 担い手の確保については、問題ないという事か。

(提案者回答) 指定テーマでの実施ということで、人手は限界といえば限界なのですが、何とか若い人が入ってきています。またボランティアの方も対応してくれています。

(質問3) 方針を市に決めてもらわなければならないと思っている。竹袋調整池を公園事業として取り組むのはどうか? 協働事業として行わなくても良いのではないか。

(関連部署回答) あくまで調整池と考えています。公園事業として行えるかは、安全面など検討が必要だと考えています。公園事業として市が業務委託をした場合、公園と同様に草刈りをする事はできますが、今までのような丁寧な整備は難しくなると考えられます。今後どのような契約形態をとるのか、担い手の不足問題など、検討していきたいと考えています。

【提案10】グリーンカーテン大作戦! 「CO2を減らそう! ストップ温暖化大作戦!」

提案者の発表

提案者はパワーポイントを使い、提案内容について説明を行った。

質疑応答

(質問1) 担当課にお聞きしたい。グリーンカーテンのCO2削減効果がどれほどのものか。観点としては良いが効果としては低いのではないか。この活動を入り口とし使い、正確な情報を伝えてください。

(提案者回答) グリーンカーテンの効果を、科学的なデータを使って示すというのは難しいです。しかしイベント等で使うポスターの中で、横浜の環境科学研究所の資料から引用した数字を使って、効果を示しています。温暖化の説明をする際は、お米が取れなくなる、どれくらい暑くなるなど、科学的な説明ではなく、具体的に印西市ではどうなるのかということの説明をしています。

(関連部署回答) カーボンニュートラルのきっかけになる事業として、継続していく予定です。カーボンニュートラル2050年計画を策定中であり、グリーンカーテンなどの新たな取り組みについて、市民や団体から様々なアイデアが出ています。それらのアイデアを盛り込んだ計画を、また示していけたらと思います。

(質問2) 牧の原小学校の校庭でグリーンカーテンを見させていただいた。しかし夏休みは先生がきていないのもったいないと感じた。学校ではなく、年間を通して人が集まる公共施設がいいのでは?

(提案者回答) 実は小学校4年生でゴーヤの成長を、理科の授業で取り組んでいます。それと組み合わせ小学校で苗を配布することで、夏休みの課題でゴーヤを育ててもらっています。地域に波及するきっかけとなっているので、今後も学校で実施していきたいと考えています。ただ委員のおっしゃる通り、目のつく場所に設置していきたいと思っています。参考にさせていただきます。

(質問3) 市に伺いたい。どのくらいの連動をかけて事業を実施する予定なのか。例えば教育委員会と連携すれば、小学校の面積に対してどのくらい設置できたかや、何パーセント設置面積が増加

したかなどわかると思う。市として横展開やサポートしていく考えはあるのか？

（関連部署回答）昨年度は原小のみの講座実施でしたが、今年度は牧の原小も合わせて全部で2校実施しました。次年度以降教育委員会と連携しながら、学校数を増やしていきたいと考えています。しかし来年度予算ではもう一校分しか予定していないので、それ以降はまた考えさせていただけたらと思います。

【提案11】里山の水循環と生物多様性の保全及び地域活性化のための官民連携事業

提案者の発表

提案者はパワーポイントを使い、提案内容について説明を行った。

質疑応答

（質問1）他の事業と異なり、市民活動を支援するような事業だと捉えている。三者協議で話し合われた内容について教えてください。

（提案者回答）我々は印西市というよりは、北総地域単位で活動しています。その中で担い手の問題や広報の問題を抱えた団体は、把握しております。またグリーンインフラというテーマで活動しているので、お話を聞いていると色々な気づきがあります。それらを生かして課題解決になるような協議会の設置、専門家との結びつきを行っていきたいと考えています。

（質問2）協議会の取り組みである対象地現状把握、活動団体の把握、事業計画の策定はいつの時点を目標とするのか。単年度では何か実行に移るものがあるのか、教えてください。

（提案者回答）計画書のようなものは作りません。印西市の保全活動をどうしたら量的にも質的にも向上できるのか考え、実行に移せるものは移していきたいと考えています。もし単年度で終わってしまっても成果は出ます。先のお話をしますと協議会がずっとあることで、印西のグリーンインフラが進んで豊かな地域になると思います。印西市にどれだけ緑地があるのかというマップは、単年度で作成できます。公表の仕方については市と協議しますが、活用できる形にはしたいと思っています。里山団体の現状把握や活動内容、課題などの情報を集めて、連携先のマッチングのようなことをやりたいと考えています。

（質問2-2）確実に実現できるものはありますか？

（提案者回答）どういったものが課題として挙がるかは、この協議会で分かるものと考えています。その課題が単年度で実行できるものであれば実行します。例えば自然共生サイトの登録などは、1年目で登録申請まで実行できます。

（質問3）循環型の社会を作っていくとなると、投資計画が必要になると思う。市に考えをお伺いしたい。

（関連部署回答）市としても官民連携は必須であり、この事業を更なるきっかけにしていきたいと考えています。また先ほどもお話しましたが、カーボンニュートラル2050年計画を策定中で、民間企業10事業者と会議を設置しました。その中でも生物多様性の保全について、話し合いをしていきたいと考えています。

(質問4) 期待の大きい事業であると評価する。成果となるマップは非常に武器になると思うので、GISのデータの公開はしてほしい。先進的な取り組みを期待する。

(提案者回答) マップはオープンにしていきたいと考えています。印西市から提供される情報、個人情報に関わる部分も配慮しつつ、アクセスしやすいところに置いておこうと考えています。

【提案12】 #私たちの保健室～みんなで繋がり合える印西市を目指して～

提案者の発表

提案者はPDFを使い、提案内容について説明を行った。

質疑応答

(質問1) 事業実施にあたっての推進体制がよくわからないので、説明してください。

(提案者回答) 団体の理事が4名おり、総括、講師の依頼、備品の手配、スケジュールの作成、イベントの運営、内部の講師・スタッフの調整を行っています。他にボランティアの方が6名います。

(質問1-2) 事業種類が多くハードだと思うが大丈夫か。

(提案者回答) イオンのイベントを今まで4回実施しています。事業実施は可能だと考えます。

(質問2) リプロダクティブヘルスライツをテーマに掲げている事業ということでお聞きする。事業内容を見ると女性の参加者を念頭に置いていて、男性の部分が抜けているのではと感じた。男女共同参画ではなく、女性参画に思える。男性はどうこの事業に関わればいいのか？

(提案者回答) 映画の上映イベントやイオンのイベントは、親子での参加者が多いです。実験は男のお子さんも参加してくれていますし、全てにおいて男性も女性も参加できるような企画運営をしていきたいと考えています。月経のことは女性だけの問題ではなく、男性の方も知っておくべきことです。このイベントの中で、自然な形で伝わったらいいなと思います。

(質問3) デリケートな問題について、どう興味をもっていただくかが重要だと考える。イベントに参加して気づきがあった参加者の声を資料に盛り込むなど、参加者を増やすための仕掛けは何かあるか。

(提案者回答) 団体のSNSで講座内容が伝わるように発信しています。性のこと生理のことは、入りにくいと感じる方はいます。そのためイオンで開催する際は、理学療法士の話や絵本の読みきかせ、ぬりえの実施など、どなたでも参加しやすいような工夫をしています。

(質問3-2) 男性はこういったことは聞きにくいと思う。活動に参加したメリットを事例として示すなど、色々な方法を試してください。

(提案者回答) 参考にさせていただきます。

(質問4) イベントの参加人数は何を根拠にしているか。今までの活動の実績からなのか、目標値なのか教えてください。

(提案者回答) イオンの講座は今までの実績から100名としています。映画上映イベントは申し込みの段階でチケットをお渡しして、来ていただく形となっています。映画は参加人数によって一回の開催費用が変わるので、参加者50名としています。場所はそうふけ公民館で、足を延ばして

のんびり見ていただけるような形をとろうと考えています。

③審査結果午後発表・講評

【審査結果】

提案 番号	事業名	適	否	結果 (適/否)
7	「地域猫活動」普及啓発事業	11	0	適
8	市民参加で守る別所谷津公園の谷津の生態系	11	0	適
9	竹袋調整池と周辺地域の維持管理事業	11	0	適
10	グリーンカーテン大作戦！「CO2を減らそう！ストップ温暖化大作戦！」	11	0	適
11	里山の水循環と生物多様性の保全及び地域活性化のための官民連携事業	9	1	適(※)
12	#私たちの保健室～みんなで繋がり合える印西市を目指して～	10	1	適

※11については委員1名が提案者のため、審査を外れる。

【講評】

提案毎に、担当の市民活動推進委員会委員より講評を行う。

【提案7】「地域猫活動」普及啓発事業

- ・地域の課題を的確にとらえた、期待の大きい事業であると評価します。
- ・活動内容の周知について、よく検討していただくとともに、ルールブックを上手く啓発に活用してください。担当部署との連携が必要不可欠ですので、よく協議してすすめてください。
- ・普及啓発の効果をどういう指標で測るかについて、よく検討してみてください。

【提案8】市民参加で守る別所谷津公園の谷津の生態系

- ・生態系を守る上で、有効な事業であると評価します。重要な地域資源である谷津のために、積極的な動きを期待します。
- ・市民と協力して実施していくことが重要であると考えます。
- ・様々なファンドとの併用を評価します。協働事業の部分とまちづくりファンドとの部分を明確にして下さい。

【提案9】竹袋調整池と周辺地域の維持管理事業

- ・長きにわたり活動の実績があり、市民ニーズの高い事業であると評価します。
- ・事故防止のための安全面について、配慮してください。市内の他の事業者にも参加を働きかけるなど、事業の継続性を高めてください。

・事業者の負担を減らせるよう、検討してみてください。来場者の満足度の把握など、整備による効果の測定について検討してください。

【提案10】グリーンカーテン大作戦！「CO2を減らそう！ストップ温暖化大作戦！」

・提案名と事業の実体に距離感があるという意見がありました。イベント等を通して実行力が感じられるので、真摯な取り組みを期待します。

・地域の顔となる公共施設へのグリーンカーテンの設置についても進めてください。グリーンカーテンの施策が具現化される事は素晴らしい事なので、積極的な活動を期待します。

・CO2を減らすという大きな課題に向かって長く継続的に取り組み、STOP温暖化に寄与できるよう、期待しています。

【提案11】里山の水循環と生物多様性の保全及び地域活性化のための官民連携事業

・自然保護やグリーンインフラの整備は、世界に示す活動として有益な事業であると評価します。作成したデータは、オープンデータになることが大事だという意見がありました。官民連携を進めてください。

・市民の自然への関心を高めながら、自然環境の保護、協議会の調査結果の公表を進めてください。また、提案者や他団体なども含めて実施体制を作ってみてください。グリーンインフラのポテンシャルマップを市に示すとともに、計画を立てるだけでなく計画を遂行できるようにしてください。

【提案12】#私たちの保健室～みんなで繋がり合える印西市を目指して～

・指定テーマと合致しており、市民全体の教育に関わる有意義な事業であると評価します。

・スケジュールが立て込んでおり、推進体制に不安があるという意見がありました。無理なく実現できるよう、事業計画を立ててください。また例えば参加者アンケートなどにより、性の認知度が事業実施前と実施後でどのように変化したか、データを取得するなどしてください。

・対象者がイベントに参加できるように、心理的ハードルが下がるような周知方法を検討してみてください。また、男性参加者の取り込みを期待します。

【総評・午後】

委員長より総評がある。

午後は6団体の発表が行われ、様々な分野の事業が最終審査を通過しました。行政は様々な方に等しくサービスを供給することには長けていますが、一つの問題に重点的にサービスを供給することは苦手としています。そういった問題がある中でNPOや市民団体と協力し、生物多様性、環境保全、地域猫の保護、男女平等に取り組めることは良い事だと思います。暮らしやすさを実現し、他の市にも波及するといいと思います。引き続き2年目、3年目と継続していただけたらと思います。

【事務連絡】

今後の予定として、本日の審査結果を文書にて、各提案者に送付すること、また本日の結果に基づき、採択候補事業の選定結果を委員会から市長に答申し、市長が採択事業を決定後、来年度に向けて予算化、また事業の実施のための具体的な準備に入ることを説明。

以上

令和6年10月4日に行われた、印西市市民活動推進委員会の会議録は事実と相違ないので、これを承認する。

令和6年11月8日

会議録署名委員 委員長 戸川 和成